

日本の取組を積極的に発信 第6回世界水フォーラムが閉幕

フランス・マルセイユ

で開催されていた第6回世界水フォーラムが現地時間の17日に閉幕した。

会期中、さまざまな会議やセッションなどが行われた。日本からの参加者も水分野における日本の取組をPRすることともに、議論にも積極的に加わり、各国の参加者と交

流を深めた。

13日午前に行われたハイレベル会合では、「さらなる水に関する国際的な普及を目指して」の具体案をリオ環境サミット・フランス20に提案することを宣言した。同日午後

には、「更なる安全な水と衛生的な環境を作ることとを加速すること」を明

記し、具体的な取組として水資源、エネルギー、食糧問題をグローバルな視点から、また多くの経済的な視野から総合的に判断し、各国の水政策に反映することを盛り込んだ。関係宣言が発表された。

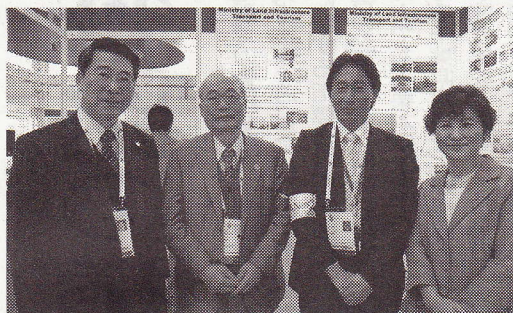
日本関連の主なイベントでは、国土交通省と日本下水道協会が下水再生

水利用促進に関するセッションを行い、日本が持つ技術や経験の活用について議論した。日本が進めるISO関連活動の促進につなげるのが狙い。

アジア・太平洋水フォーラム主催のアジア太平洋統合コミットメントセッションでは、前半でアジア太平洋地域から水問題解決のための具体的な目標・解決策の報告があり、後半で第2回アジア太平洋水サミットに向けた提言に関する議論が行われた。森喜朗・同フォーラム会長(元首相)は、東日本大震災における各国からの支援に謝辞を述べた。



講演する尾崎専務(右から2人目)



安中徳二下水協理事長(中央左)も参加
(左は吉村和就GWJ代表)

また、パリ市水道局らがフランスパビリオンで開いたセッションには尾崎勝・日本水道協会専務理事が参加。日本の水道



「水の天使」酒井さんが日本をPR

事情および東日本大震災の復旧状況について講演した。

Rした。

し、各国から高い評価を受けた。国交省が主催する日本パビリオンには、ミス日本「水の天使」を務める酒井美帆さんが着物姿で登場し、各国からの参加